

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	08 罹患率を下げる	【節】	豊かな人生を支える福祉社会の実現
【施策】	1 疾病を予防する	【項】	健康の維持・増進
【基本事務事業】	801 健康増進事業を充実する	【基本計画区分】	202【担当課】 4812000 保健福祉課

【目的】 日常生活の中で、より積極的に疾病予防のための行動ができるよう、生活習慣病や感染症等の情報提供や健康増進活動の場を確保し、疾病を予防する。	【背景】 高齢化を迎え、特に長くなった高齢期を乗り切るものとするためには、日常生活における健康管理が重要な課題になっており、今後はこれらの事業を一層充実することが期待されている。	コード	配下事務事業名	【担当課評価】:最終結果・課題の解決策・今後の方向性 現状維持 「健康松戸21」中間評価のための市民アンケート調査結果をもとに、市民の主体的な健康づくりの意識を高める。
		80101	健康増進啓発事業	
		80102	地区組織育成事業	
		80103	健康増進人材育成事業	
		80104	市民健康相談事業	
		80105	家庭訪問事業	
		80106	保健福祉センター管理運営事業	
		80107	食育推進事業	

【重要性】
食生活や運動、適切な休養は健康の増進に欠かせないことである。病気を予防するというだけでなく、日常の中でより積極的に健康増進のための行動ができるよう、必要な情報提供と活動の場を確保することが必要である。

【今後の課題】
「健康松戸21」計画推進し、市民の主体的な健康づくりの意識を高める。

【現状分析】
高齢化に伴い、健康に不安を持つ人が、増加しているものと思われる。市民の主体的な健康づくりの意識を高めるため、必要な情報を提供することが期待されている。

【指標】	上段: 予算目標	下段: 実績	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
主観的に健康と思う人の割合			78.3	80	80	80	80
(%)			78.3	78.3	72.6	72.6	72.6
			0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	08	罹患率を下げる	【施策】	1	疾病を予防する								
【基本事務事業】	801	健康増進事業を充実する	担当課:	4812000									
【事務事業】	80101	健康増進啓発事業	保健福祉課										
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
市民の健康増進への関心を高め、健康づくりを実践できるようにする。	参加者数(人)	各業務参加者数の和	1300	1300	1300	1300	1300	計画額	4,776	3,703	4,016	2,738	3,040
			1388	2636	1787	1360	1960	(一般財源)	4,776	3,703	4,016	2,738	3,040
()	()	()	0	0	0	0	0	予算額	4,776	3,703	2,738	2,364	3,040
			0	0	0	0	0	(一般財源)	4,776	3,703	2,738	2,364	3,040
()	()	()	0	0	0	0	0	決算額	4,388	2,478	4,132	2,452	2,957
			0	0	0	0	0	職員数	5	5	5	5	5
【対象】			【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績					【業務】 健康コンテスト業務 口腔保健週間業務 健康教育業務 健康松戸21推進業務					
市民(市内居住者)													
【定量分析】: 課題・現状分析							【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性						
市民の健康増進を図るため、健康松戸21推進業務をはじめ、健康コンテスト、健康づくり講座、食生活講座、歯の健康週間と事業は多岐に渡っている。							本事業は「市民の健康づくり」という目的を達成するための環境整備を行う事業であり、知識の普及・啓発は重要な手段である。						

【計画事業】

【計画事業名】健康松戸21推進事業(一部)

【節項コード】 202 【節名】豊かな人生を支える福祉社会の実現

【項名】健康の維持・増進

	H15	H16	H17	H18	H19
計画	重点課題「たばこと健康」	重点課題「たばこと健康」「育児支援」	重点課題「たばこと健康」「休養・心の健康」	重点課題「たばこと健康」「運動と身体活動」	重点課題「たばこと健康」「歯と歯ぐきの健康」
実績	・健康コンテスト 健脚と川柳 年1回 ・健康づくり講座・食生活講座 4日間 3コース・口腔保健週間事業 年1回	・健康コンテスト 健脚と川柳 年1回 ・健康づくり講座・食生活講座 4日間 3コース・口腔保健週間事業 年1回・育児支援講演会 1回	・健康コンテスト 健脚と川柳 年1回 ・健康づくり講座・食生活講座 4日間 3コース・口腔保健週間事業 年1回・講演会「良い睡眠のために」 ・運動しやすい環境を共に創る検討会	・健康コンテスト 健脚と川柳 年1回 ・健康づくり講座・食生活講座 4日間 3コース・口腔保健週間事業 年1回・講演会「デュークウォーク体験レッスン」	・健康コンテスト 健脚と川柳 年1回 ・健康づくり講座・食生活講座 4日間 3コース・口腔保健週間事業 年1回・講演会「ついつい噛んじゃうかむいかむクッキング」

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	08	罹患率を下げる	【施策】	1	疾病を予防する								
【基本事務事業】	801	健康増進事業を充実する	担当課:	4812000									
【事務事業】	80102	地区組織育成事業	保健福祉課	会計区分	一般会計								
				計画区分	一般事業								
				202	戦略区分								
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
地域の仲間とともに健康づくりを継続的に実践できるようにグループ育成をする。	育成数(団体)	育成団体数	2	2	2	2	2	計画額	386	297	324	297	288
			0	0	0	0	0	(一般財源)	386	297	324	297	288
			0	0	0	0	0	予算額	386	297	297	288	288
			0	0	0	0	0	(一般財源)	386	297	297	288	288
()	()	()	0	0	0	0	0	決算額	434	258	483	276	248
			0	0	0	0	0	職員数	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2
			単位) 事業費:千円		職員数:人								
【対象】 18歳以上の市民(市内居住者)	()	()	0	0	0	0	0	【業務】	健康づくりグループ育成業務				
			0	0	0	0	0	ヘルスポランティア育成・支援業務					
【指標値】 上段: 予算目標 下段: 実績													
【定量分析】: 課題・現状分析						【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性							
平成20年度で任期が終了する健康推進員に対し、地域で健康づくりグループの育成等にかかわっていきけるような意識をもってもらえるよう働きかける。						意識を持った健康推進員が、地域で健康づくりのためのグループを立ち上げていく。							

【政策】	08	罹患率を下げる	【施策】	1	疾病を予防する								
【基本事務事業】	801	健康増進事業を充実する	担当課:	4812000									
【事務事業】	80103	健康増進人材育成事業	保健福祉課	会計区分	一般会計								
				計画区分	一般事業								
				202	戦略区分								
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
健康づくりの知識の普及と意識の向上を図るための人材を育成する。	累積育成人数(人)	健康推進員数+栄養改善推進員+その他の組織・グループ育成+ボランティア育成・支援事業対象者+高齢者運動教室指導員数	556	556	586	826	856	計画額	10,179	10,172	10,070	10,107	8,710
			548	548	578	691	507	(一般財源)	9,779	9,772	9,670	10,107	8,710
			20000	20000	20000	20000	20000	予算額	10,179	10,172	10,107	8,710	8,663
			15222	17020	20407	16777	20129	(一般財源)	9,779	9,772	9,707	8,710	8,663
()	活動件数(件)	(健康推進員数+栄養改善推進員+その他の組織・グループ育成+ボランティア育成・支援事業+高齢者運動教室指導員数)の活動の延べ数	20000	20000	20000	20000	20000	決算額	9,897	9,810	9,423	7,935	7,864
			15222	17020	20407	16777	20129	職員数	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9
			単位) 事業費:千円		職員数:人								
【対象】 市民の健康づくりに意欲のある人	()	()	0	0	0	0	0	【業務】	高齢者運動教室指導者養成業務				
			0	0	0	0	0	健康づくり推進協議会関係業務					
【指標値】 上段: 予算目標 下段: 実績													
【定量分析】: 課題・現状分析						【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性							
育成数の減少は平成18年度から平成19年度に向けて高齢者運動教室指導員養成講座の回数が減少平成17年度から平成18年度にかけて活動数が減少しているが、これは、健康推進員の委嘱の初年度のため、活動を模索しているためと考えられる。						健康づくりについて学習し、自分、家族、近隣住民の健康に関心を持ち健康的な生活のために行動や働きかけができるようになる。							

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	08	罹患率を下げる	【施策】	1	疾病を予防する
【基本事務事業】	801	健康増進事業を充実する	担当課:	4812000	
【事務事業】	80106	保健福祉センター管理運営事業	保健福祉課		
			会計区分	一般会計	計画区分 一般事業 202 戦略区分 -

【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
保健福祉事業を円滑に実施するために、建物、備品等の維持管理をおこなう	適正な管理(件)	市民及び市民からの苦情件数	0	0	0	0	0	計画額	56,898	55,204	56,898	58,601	50,622
			0	0	0	0	0	(一般財源)	56,852	55,163	56,852	58,555	50,581
	()		0	0	0	0	0	予算額	56,898	55,204	58,601	54,122	49,577
			0	0	0	0	0	(一般財源)	56,852	55,163	58,560	54,081	49,536
	()		0	0	0	0	0	決算額	55,121	53,639	55,672	51,583	43,424
			0	0	0	0	0	職員数	1	1	1	1	1
							単位) 事業費：千円 職員数：人						
【対象】							【業務】	中央保健福祉センター管理運営業務 小金保健福祉センター管理運営業務					

【指標値】上段：予算目標 下段：実績

【定量分析】：課題・現状分析

管理運営においては大きな支障も無く予算の範囲内で執行が出来たが、開設当初からある車両、長机、OA機器等の備品や建物の設備(電気、空調、上下水道等)に修理や交換の必要性が出てきている。

【担当部課評価】：最終結果・課題の改善策・今後の方向性

建物の安全性、利便性の確保と備品等の維持管理については、おおむね予算の範囲内に置いて施設の維持管理に努め施設の管理運営を実施した。

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	08 罹患率を下げる	【節】	豊かな人生を支える福祉社会の実現
【施策】	1 疾病を予防する	【項】	健康の維持・増進
【基本事務事業】	803 感染症を予防する	【基本計画区分】	202【担当課】 4812000 保健福祉課

【目的】	日常生活の中で、より積極的に疾病予防のための行動ができるよう、生活習慣病や感染症等の情報提供や健康増進活動の場を確保し、疾病を予防する。	【背景】	18世紀以降、ワクチンの開発や抗生物質の発見により、感染症の予防・治療方法が飛躍的に進歩し、一時は感染症はもはや脅威ではあり続けられないと思われていた。しかし、ここ30年の間は、新興感染症といわれている、エボラ出血熱、エイズ等が出現。また、平成15年度には、SARS(サーズ)、高病原性鳥インフルエンザウィルスの流行などが発生している。感染症対策は引き続き重要な位置を占めている。	コード	配下事務事業名	【担当部課評価】:最終結果・課題の解決策・今後の方向性
		【今後の課題】	市民の感染症に対する意識を高める。	80301	予防接種事業	
				80302	結核予防事業	
				80303	公衆浴場補助金	
				80304	食品衛生協会補助金	
				80305	松戸調理師会補助金	

【重要性】
感染症を予防するためには、市民の日頃のこころがけと行動が大変重要であり、市民が感染症予防の知識をもてるよう、情報の提供等に努める必要がある。

【現状分析】
近年、予防接種法の一部改正等が重なり定期予防接種の対象年齢や接種方法の変更が多くなり、改正内容の正しい理解を図り混乱を防止するために、医療関係者に対しては研修会を開催、接種対象者等に対しては、広報やホームページを利用した情報提供、学校等を通じての通知等により周知徹底を図った。今後も改正等があった場合は、速やかに情報提供等の周知徹底を図る必要がある。

【指標】	上段: 予算目標	下段: 実績	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
予防接種率			62.8	62.8	62.8	62.8	62.8
(%)			66.4	66.7	65.1	52.9	55.5
			0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0

【政策】	08 罹患率を下げる	【施策】	1 疾病を予防する
【基本事務事業】	803 感染症を予防する	担当課:	4812000
【事務事業】	80301 予防接種事業	保健福祉課	会計区分 一般会計 計画区分 一般事業 202 戦略区分 -

【目的】	予防接種により抵抗力(免疫)をつけ、感染症にかからないようにする	【指標】	予防接種の接種率(%)	【指標概要】	接種者数/対象者数×100	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
		()				87	88	89	90	91	計画額	433,628	416,548	452,971	494,022	591,827
						87	87	65.1	51.5	54.3	(一般財源)	433,628	416,548	452,971	494,022	591,827
						0	0	0	0	0	予算額	433,628	416,548	448,622	502,810	501,752
						0	0	0	0	0	(一般財源)	433,628	416,548	448,622	502,810	501,752
						0	0	0	0	0	決算額	442,624	444,493	381,583	283,271	391,405
											職員数	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9
											単位) 事業費: 千円 職員数: 人					
【対象】	法令で決められている対象者					0	0	0	0	0	【業務】	ポリオ予防接種業務				インフルエンザ予防接種業務
						0	0	0	0	0		三種混合予防接種業務				予防関係業務
												二種混合予防接種業務				
												麻しん予防接種業務				
												風しん予防接種業務				
												日本脳炎予防接種業務				

【定量分析】: 課題・現状分析

平成18年度より予防接種法が一部改正され、麻しん及び風しんの予防接種が単抗原ワクチンによるそれぞれ1回接種から、麻しん・風しん混合(MR)ワクチンを主体とする2回接種となり、接種対象者が増加。個人通知等の接種勧奨により高接種率となる。また、日本脳炎予防接種は、現在もワクチン接種の積極的勧奨の差し控えが続いているため、接種者数が減少したままとなっている。

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性

感染症の発生及びまん延を防止するため、市民に対し、予防接種について十分な情報提供を行い、予防接種の有効性や必要性等について理解を図り、接種率向上に努める。

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	08	罹患率を下げる	【施策】	1	疾病を予防する									
【基本事務事業】	803	感染症を予防する	担当課:	4812000										
【事務事業】	80302	結核予防事業	保健福祉課	会計区分	一般会計									
				計画区分	一般事業									
				202	戦略区分									
					—									
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	
予防接種により抵抗力(免疫)をつけ、結核による重症化を予防する	BCGの接種率(%)	接種者数/対象者数×100	99.4	99.4	80	85	90	計画額	100,852	113,097	112,874	86,585	93,314	
			97.1	99.3	99.9	94.2	95	(一般財源)	100,852	113,097	112,874	86,585	93,215	
								予算額	100,852	113,097	87,531	86,898	91,873	
()			0	0	0	0	0	(一般財源)	100,852	113,097	87,531	86,762	91,873	
			0	0	0	0	0	決算額	110,956	122,208	89,578	89,812	92,661	
								職員数	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	
()			0	0	0	0	0	【業務】	ツベルクリン反応・BCG予防接種業務 X線撮影委託業務					
			0	0	0	0	0							
【対象】	法令で決められている対象者													
【定量分析】:課題・現状分析													【担当部課評価】:最終結果・課題の改善策・今後の方向性	
平成17年4月1日結核予防法の一部改正により、ツベルクリン反応検査が廃止され、BCGが直接接種となる。対象年齢も生後6か月未満までと変更される。また、平成19年4月1日には、結核予防法が廃止されBCG予防接種が予防接種法に組み込まれる。接種対象者への個人通知及び市の広報、ホームページ等の掲載により周知を図る。													現在の接種率が保たれるよう、接種対象者に対し情報提供を行う等6か月未満までに接種を完了するよう接種勧奨が必要。	

【政策】	08	罹患率を下げる	【施策】	1	疾病を予防する									
【基本事務事業】	803	感染症を予防する	担当課:	4812000										
【事務事業】	80303	公衆浴場補助金	保健福祉課	会計区分	一般会計									
				計画区分	一般事業									
				202	戦略区分									
					—									
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	
公衆衛生事業の円滑な推進を図り、公衆衛生の向上と、経営者の経営の安定を目的とする。	公衆浴場の確保(施設)	公衆浴場の施設数	13	13	13	13	13	計画額	17,500	17,500	17,500	16,700	15,200	
			13	13	11	10	9	(一般財源)	17,500	17,500	17,500	16,700	15,200	
								予算額	17,500	17,500	17,500	16,160	15,100	
()			0	0	0	0	0	(一般財源)	17,500	17,500	17,500	16,160	15,100	
			0	0	0	0	0	決算額	16,520	16,395	14,784	13,624	12,872	
								職員数	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	
()			0	0	0	0	0	【業務】	浴場浄化剤購入費補助金 施設維持補修費補助金 振興対策事業費補助金					
			0	0	0	0	0							
【対象】	松戸市公衆浴場組合													
【定量分析】:課題・現状分析													【担当部課評価】:最終結果・課題の改善策・今後の方向性	
公衆浴場の経営の安定化を図り、もって市民の公衆衛生の向上を図るとともに利用者の増加をはかるため補助事業を実施しました。													経営者の高齢化や後継者不足により廃業する浴場がある中で経営存続の為、活性化事業を展開し公衆浴場の経営の安定化を図るため、補助事業を実施しました。	

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	08 罹患率を下げる	【節】	豊かな人生を支える福祉社会の実現
【施策】	2 疾病を早期に発見する	【項】	健康の維持・増進
【基本事務事業】	804 健康診査事業を充実する	【基本計画区分】	202【担当課】 4812000 保健福祉課

【目的】	【背景】	コード	配下事務事業名	【担当部課評価】:最終結果・課題の解決策・今後の方向性
健康診査や各種がん検診等を実施することにより、健康状態を確認し、疾病がある場合には速やかに治療できるようにする。	健やかな高齢期をめざして、壮年期から総合的な保健対策の推進を大きな柱として、昭和58年2月から老人保健法が施行され保健事業が実施されるようになった。生活習慣病及びがんの早期発見対策に重点を置き、各種事業を実施している。がん検診は、平成9年度までは老人保健法に基づいた事業であったが、平成10年度より同法の事業より削除されたことにより、市の事業として実施している。	80401	健康診査事業	今後も受診者を増やすためのPR等を図る。
		80402	がん検診事業	
		80403	受診勧奨事業	
		80404	老人保健対策推進協議会開催事業	
		80405	歯科診療支援事業	
	【今後の課題】			
	受診の啓発活動、受診機会の拡大により受診率を高める。			

【重要性】
市民の健康状態の確認と疾病の早期発見のためには、健康診査事業を充実し、受診率を高めることが必要である。

【現状分析】	【指標】	上段: 予算目標	下段: 実績	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
健康診査事業は全部の健診が前年度より大幅な増加傾向にあり、今後も市民に健康意識のPRにつとめたい。	受診率(基本健康診査)			31.5	31.7	31.9	32.1	32.7
	(%)			31.5	30.9	0	0	0
	()			0	0	0	0	0
	()			0	0	0	0	0

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	08	罹患率を下げる	【施策】	2	疾病を早期に発見する
【基本事務事業】	804	健康診査事業を充実する	担当課:	4812000	
【事務事業】	80403	受診勧奨事業	保健福祉課		
			会計区分	一般会計	計画区分
					計画事業
				202	戦略区分
					—

【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
健康診査及び各種がん検診を登録し、定期的に健診を受ける。	健診登録率(%)	登録者/勧奨対象者×100	45	47	48	50	52	計画額	15,804	15,246	15,687	16,374	9,721
			43.6	46.1	25.9	26.1	26.3	(一般財源)	15,804	15,246	15,687	16,374	9,721
	()		0	0	0	0	0	予算額	15,804	15,246	20,098	14,044	9,859
			0	0	0	0	0	(一般財源)	15,804	15,246	20,098	14,044	9,859
	()		0	0	0	0	0	決算額	15,790	16,088	17,178	14,080	9,284
			0	0	0	0	0	職員数	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
							【業務】						
							単位) 事業費:千円 職員数:人						

【対象】
健康診査及び各種がん検診等の新たに対象となる市民に健診を受けるよう勧める

【定量分析】:課題・現状分析

平成17年度までは、登録している市民全員に検診の通知を毎年郵送していたが、平成18年度から2年間1回も受診しない方には検診の通知を郵送しないこととしました。通知をしないことにより、市民の健康にたいする意識が上がり受診者が増加した。

【担当部課評価】:最終結果・課題の改善策・今後の方向性

病気を予防し、早期に発見し保健指導を実施する。

【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績

【計画事業】

【計画事業名】健康診査・検診事業

【節項コード】 202 【節名】豊かな人生を支える福祉社会の実現

【項名】健康の維持・増進

	H15	H16	H17	H18	H19
計画	次年度40歳到達者、女性の次年度35歳到達者への健診の案内郵送	次年度40歳到達者、女性の次年度35歳到達者への健診の案内郵送	次年度40歳到達者、女性の次年度20歳から30歳及び35歳到達者への健診の案内郵送。	次年度40歳到達者、女性の次年度20歳30歳35歳到達者への健診の案内郵送。	次年度40歳到達者、女性の次年度20歳30歳35歳到達者への健診の案内郵送。
実績	希望調査はがき発送 28000人	希望調査はがき発送 28000人	希望調査はがき発送 52368人	希望調査はがき発送16,556人	希望調査はがき発送14,717人

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	08	罹患率を下げる	【施策】	2	疾病を早期に発見する									
【基本事務事業】	804	健康診査事業を充実する	担当課:	4812000										
【事務事業】	80404	老人保健対策推進協議会開催事業	保健福祉課	会計区分	一般会計									
				計画区分	一般事業									
				202	戦略区分									
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	
老人保健事業を円滑かつ効果的に実施するよう協議する。	委員の出席率(%)	出席者数÷委員の総数	100	100	100	100	100	計画額	106	106	106	106	106	
			64.3	64.3	71.4	78.6	0	(一般財源)	106	106	106	106	106	
	()		0	0	0	0	0	予算額	106	106	106	106	105	
			0	0	0	0	0	(一般財源)	106	106	106	106	105	
	()		0	0	0	0	0	決算額	78	60	70	77	0	
0			0	0	0	0	職員数	1	1	1	1	1		
【対象】								【業務】						
市民								単位) 事業費:千円		職員数:人				
			【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績											
	【定量分析】: 課題・現状分析						【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性							
	老人保健法に基づいた事業について、当年度の経過並びに結果及び次年度の計画を協議会において審議することにより、市民に対しより良い老人保健事業を展開することができた。						医療制度改革により、老人保健法が「高齢者の医療の確保に関する法律※」に全面改正され、従来の老人保健事業のうち、「※」に定められたもの以外については、健康増進法に基づく健康増進事業として引き続き市町村が実施することとされた。このことから平成20年度より設置要綱を改正し、改めて審議内容を見直していかなければならない。							

【政策】	08	罹患率を下げる	【施策】	2	疾病を早期に発見する									
【基本事務事業】	804	健康診査事業を充実する	担当課:	4812000										
【事務事業】	80405	歯科診療支援事業	保健福祉課	会計区分	一般会計									
				計画区分	一般事業									
				202	戦略区分									
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	
口腔がんの早期発見健康の保持増進	検診参加者数(人)	事前申込者数-当日棄権者数=参加者数	0	200	200	200	0	計画額	3,000	1,000	1,000	1,000	1,000	
			0	289	271	219	455	(一般財源)	3,000	1,000	1,000	1,000	1,000	
	要精密検査発見率(%)	紹介状発行数/当日参加者数*100=発見率	0	5	5	5	0	予算額	3,000	1,000	1,000	1,000	1,000	
			0	0	0	0	0	(一般財源)	3,000	1,000	1,000	1,000	1,000	
	()		0	0	0	0	0	決算額	3,000	1,000	1,000	1,000	1,000	
0			0	0	0	0	職員数	0	0.1	0.1	0.1	0.1		
【対象】								【業務】						
市民								単位) 事業費:千円		職員数:人				
			【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績											
	【定量分析】: 課題・現状分析						【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性							
	口腔がんの検診を平成16年度から18年度までの3年間の時限事業として行ったが、1年延長し19年度をもって終了した。						口腔がんの検診を平成16年度から18年度までの3年間の時限事業として行ったが、1年延長し19年度をもって終了した。							

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	08 罹患者を下げる	【節】	豊かな人生を支える福祉社会の実現
【施策】	2 疾病を早期に発見する	【項】	健康の維持・増進
【基本事務事業】	805 認知症を早期に発見する	【基本計画区分】	202【担当課】 4812000 保健福祉課

【目的】	健康診査や各種がん検診等を実施することにより、健康状態を確認し、疾病がある場合には速やかに治療できるようにする。	【背景】	現在、我が国では、要介護認定者の2人に1人について認知症の影響が見られ、その数は約150万人(2002年)にのぼっている(厚生労働省調べ)。高齢者の進展に伴って、このまま推移するとこうした認知症高齢者の数は、2015年には250万人に、2025年には約320万人に増加すると予測されている。	コード	配下事務事業名	【担当部課評価】:最終結果・課題の解決策・今後の方向性 現状維持
		【今後の課題】	本人や家族が認知症に対する正しい知識を持つとともに、地域社会が認知症高齢者を見守れる環境整備が必要。	80501	認知症情報提供事業	介護予防推進担当室において取り組まれている「認知症サポーター養成講座」等と連携し、啓発、実践への支援活動を推進していく。

【重要性】

現時点では、まだ認知症そのものを治療する方法は確立されていないが、早期発見、早期診断の重要性が指摘されている。その理由として、近年、アルツハイマー病について薬剤が開発され、早期であれば、一定期間、進行の抑制や症状の改善が見られるようになった。また、本人の社会的なつながりを増すような介入を早期に行なえば、認知症の発症を遅延させること(予防)ができる可能性がある。(現在、検証のため研究が行なわれている)

【現状分析】

保健福祉課においては、健康診査等を実施することにより、認知症の予防が可能であることの情報を提供していく。また、介護予防担当室との連携が必要である。

【指標】	上段: 予算目標	下段: 実績	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
認知症の予防セミナーの開催	(回)		1	1	1	1	1
			1	1	1	1	3
			0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0

【政策】	08 罹患者を下げる	【施策】	2 疾病を早期に発見する
【基本事務事業】	805 認知症を早期に発見する	担当課:	4812000
【事務事業】	80501 認知症情報提供事業	保健福祉課	会計区分 一般会計 計画区分 一般事業 202 戦略区分 -

【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	
認知症(痴呆症)に対する理解が深まるよう啓発普及を図る	参加数(人)		200	300	300	300	300	計画額	199	147	151	147	147	
			237	256	258	230	160	(一般財源)	199	147	151	147	147	
								予算額	199	147	147	147	121	
								(一般財源)	199	147	147	147	121	
				0	0	0	0	0	決算額	187	147	127	105	120
				0	0	0	0	0	職員数	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6
								単位) 事業費: 千円 職員数: 人						
【対象】 市民			0	0	0	0	0	【業務】	介護教室開催業務 相談業務					
			0	0	0	0	0							

【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績

【定量分析】: 課題・現状分析

これまで具体的な実践を通して認知症の予防や正しい知識の普及と啓発を目的に事業を展開し、市民の意識向上に貢献してきた。

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性

上記目的をもって事業を展開し、市民の意識向上に貢献してきたが、今後は外来講師による講演会を中止し、平成19年度から開始した認知症サポーター養成事業と連動することにより、さらに認知症に対する理解者を増やし、住みよい松戸を目指す。